

街を行く

第125回 下北沢 Shimokitazawa

こんな時ですがパワーを貰いました

コロナ禍にあっても、この街はパワー爆発ですね。3度目の緊急事態宣言を前に下北沢は大賑わいでした。小生、とある用事で松陰神社からの帰り道、「いまの時期に渋谷はちょっと避けたい」と下北沢の街へふと立ち寄ったのが運の尽きでした。ここは渋谷とはまた異なる若者のメッカ、人混みに思いつき遭遇する羽目となったのです。駅前のごじんまりした場所に多様雑多な文化がひしめき合う独特の雰囲気がいじりやすいですね。かつて小生が若かりし頃（学生時分ですが）、この街は若者の土臭いキラキラしたエネルギーに溢れていました。演劇や音楽で成功を志す人が多く集まっていた印象で、さらに言うところの強い、役者で言うと俳優レイヤータイプが多かった。実際に、いま映画やテレビ、舞台で活躍されている個性派俳優の方もよく見かけたものでした。

若き頃に見かけたライブハウスや小劇場もいまだ残り、覗いてみたいスタイリッシュなパブやバーもたくさん。なかでも目についたのが古着屋さんです。興味を持って探索しようか思案したものの、「オヤジが古着を着たら本当に骨董品になってしまう」と避けました。そぞろ歩きしながら、この様な街が東京にどれほどあるのか、ライバルはどこなのかを考えました。吉祥寺、三軒茶屋、自由が丘、中目黒、代官山…。色々と頭を巡らせ、歩けば歩くほどに確信が深まったのは「やっぱりこの街はこの街なのだ」ということ。他と比べること自体ナンセンスで失礼と感じた次第です。



下北沢駅前。多様で雑多な若者文化がコンパクトなエリアで行き交う、渋谷とはまた違うパワーと魅力を感じる街だ

正直、こんなにゆっくりにこの街を歩いたのは何年ぶりのことかな？ 少なくとも20年近く前になるでしょう。夜遅くまで呑んでいた記憶ばかりで、日中に素面で散策するのは初めてかもしれません。

ところで、このコロナ禍での「街歩き」はかなり後ろめたく感じるものですが、それでも当てのない街歩きは最高と言えます。もちろんマスクをはじめ感染対策には十分気を付けていますし、できるだけ自制もしています。お店を訪れることも飲食もガマン、人との触れ合いもありません。街歩きの醍醐味は何の束縛もなく自由気ままに歩くことと、人情と触れあうことです。その一つができないのは寂しい限り。いつになったら普段に戻れるのかまったく分かりま

せんが、皆さんと一緒に我慢するしかないですね。

3回目の緊急事態宣言が発出され延長にもなりました。致し方ない所もあるのでしょうか、場当たりのとも思える政策にいつまで付き合わされるのでしょうか？ もう勘弁してほしいですね！！

南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。